

令和元年6月18日現在

機関番号：11501

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2016～2018

課題番号：16K04811

研究課題名(和文)小1プロブレム・中1ギャップを改善する接続カリキュラムの開発と実証

研究課題名(英文) The development of a connection curriculum to improve "a 1st grader of elementary school, problem" and "a 1st grader of junior high school, gap" and proof

研究代表者

三浦 光哉 (MIURA, KOYA)

山形大学・大学院教育実践研究科・教授

研究者番号：10344780

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,500,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、接続カリキュラムの開発と適用により、発達障害等が保育所・幼稚園から小学校へ、小学校から中学校へとスムーズに移行できることを実証し、その接続カリキュラムの一般化を目指した。研究方法として、研究モデル校園においてスクリーニングをして発達障害児等の早期発見に努め、特別支援教育が推進するよう指導助言を行った。また、「特別支援教育研修講座」を企画・実施した。さらに、新たな接続カリキュラムを開発して発達障害児等へのスムーズな移行支援を目指した。その結果、小学校1学年と中学校1学年において、学習集中度の向上、不登校数の減少、いじめ認知度の減少、学力偏差値の向上など一定の効果が見られた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

保育所・幼稚園から小学校へ、小学校から中学校への連携の中で、接続カリキュラムの作成と実施は、発達障害児等のスムーズな移行支援にとって最も重要なものである。これまで具体的なプログラムの内容が皆無であったので、本研究で作成した接続カリキュラム(年長アプローチカリキュラム、小1スタートカリキュラム)が、モデルとなって全国の保育所・幼稚園、小学校で活用できるものと期待される。この接続カリキュラムの実施により、さらに、学習集中度の向上、不登校数の減少、いじめ認知度の減少、学力偏差値の向上などの波及効果も見られるはずである。

研究成果の概要(英文)： These studies are the development of a connection curriculum to improve "a 1st grader of elementary school, problem" and "a 1st grader of junior high school, gap" and proof.

Study method planned a screening to a developmental child with disabilities, advice and guidance to a teacher and "special support education training lecture" and put it into effect, and was to develop more new connection curriculums.

As a result, the effect of the decrease of the bullying awareness and also the improvement of the scholastic aptitude deviation value was judged as improvement of a learning concentration ratio and decrease of the school phobic number in a grade of elementary school and a grade of junior high school.

研究分野：特別支援教育

キーワード：接続カリキュラム 小1プロブレム 特別支援教育 アプローチカリキュラム スタートカリキュラム

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19（共通）

1．研究開始当初の背景

現在の教育諸問題として、小学校1年生においては、授業中に立ち歩く、教室から出て行く、教師の話を中心して聞けない、友達との関係が上手にとれない、学習について行けない、登校渋りが見られるなど、「小1プロブレム」の問題が起きている。この「小1プロブレム予防」の実践研究は、年長児の卒園間際から小1入学後にかけての明確な「接続カリキュラム」といった教育課程の編成と指導技法に関わるカリキュラム開発と実践始まったばかりである。また、今後、必要不可欠とされる小6年の卒業間際から中1年入学後にかけての「接続カリキュラム」の開発は全国的に見当たらない。

そこで、この「小1プロブレム」「中1ギャップ」を防ぐためにも、保育所・幼稚園から小学校へ、小学校から中学校へとスムーズに接続させるための新たなカリキュラム（教科学習の内容、指導時間、教材教具、指導体制など）が必要となる。また、不適応を起こしやすい発達障害児等に対しては、一貫した支援計画を作成・策定して、その計画を引き継ぐ必要がある。

2．研究の目的

本研究は、接続カリキュラム（アプローチカリキュラム、スタートカリキュラム）の開発と適用により、特別支援対象児（発達障害児、特別ニーズ児等）が保育所・幼稚園から小学校へ、小学校から中学校へとスムーズに移行できることを実証する。さらに、その接続カリキュラムを他地域でも実証し一般化を目指す。

3．研究の方法

研究目的を達成するために、以下の4つの具体的な取り組みを行う。まず、本研究推進のために「接続カリキュラムプロジェクト委員会」を組織する。メンバーは教育・保育・医療・福祉等の各専門家の約20名で構成する。また、教育・保育現場の教員を中心とする「カリキュラム開発チーム」と「カリキュラム実践チーム」を設定する。

(1)研究組織の構築と教育・保育現場の調査

(2)接続カリキュラム（アプローチカリキュラム、スタートカリキュラム）の開発と適用

(3)教員の特別支援教育研修と特別ニーズ児に対する支援計画の作成と実施

(4)「接続カリキュラム」の他地域への導入と一般化

4．研究成果

(1)研究組織の構築と教育・保育現場の調査

本研究推進のために、教育・保育・医療・福祉等の各専門家の約20名で構成する「接続カリキュラムプロジェクト委員会」を組織して、「カリキュラム開発チーム」と「カリキュラム実践チーム」を設定した。

そして、カリキュラム開発チームは、研究モデル校園に巡回相談を実施し、特別ニーズ児等（発達障害児や要困難児など）のスクリーニングを実施して現状を把握した。また、保育所・幼稚園・こども園、小学校、中学校における現行のカリキュラムおよび教育・保育内容を調査し、現状と課題を検討した。

(2)接続カリキュラム（アプローチカリキュラム、スタートカリキュラム）の開発と適用

カリキュラム開発チームは、保育所・幼稚園・小学校・中学校における現行のカリキュラムおよび教育・保育内容の現状と課題を検討する中で、アメリカやデンマーク等の先進国で実践を基に新たな接続カリキュラム（アプローチカリキュラムとスタートカリキュラム）を開発した。

(3)教員の特別支援教育研修と特別ニーズ児に対する支援計画の作成と実施

プロジェクト委員会は、研究モデル校園においてスクリーニングをして発達障害児等の早期発見に努め、特別支援教育が推進するよう指導助言を行った。また、教員等に対しても、発達障害児等への適切な指導支援ができるように「特別支援教育研修講座」を30時間企画して実施した。そして、その接続カリキュラムを研究モデル校園で活用して、スムーズな移行支援を目指した。また、発達障害児等の特別支援対象児に対して支援計画3点セット（個別の教育支援計画、個別の指導計画、個別の移行支援計画）を考案し、それを作成して障害の改善・克服に取り組んだ。

(4)「接続カリキュラム」の他地域への導入と一般化

接続カリキュラムは、山形県内の保育所・幼稚園、小学校だけでなく、岐阜県や徳島県にも導入することができた。

これらの接続カリキュラム（アプローチカリキュラムとスタートカリキュラム）の活用により、小学校1学年と中学校1学年において、学習集中度の向上、不登校数の減少、いじめ認知度の減少、学力偏差値の向上など一定の効果が見られた。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計4件)

三浦光哉、小1プロブレムを防ぐ保育活動プログラムの適用が小学校入学後に及ぼす効果、宮城教育大学特別支援教育総合研究センター研究紀要第12号、2017、13-21

三浦光哉、他、犯罪・非行に至る発達障害児等に対する予防・更生への地域連携支援システムの開発、公益財団法人明治安田こころの健康財団研究助成論文集、通巻第52号、2017、130-138

三浦光哉、5歳児アプローチカリキュラムと保育活動プログラムの効果、宮城教育大学特別支援教育総合研究センター研究紀要第11号、2016、13-21

三浦光哉、他、小1プロブレムを予防する保育所・幼稚園から小学校への接続カリキュラム開発 - 年長アプローチカリキュラムと小1スタートカリキュラム -、公益財団法人明治安田こころの健康財団研究助成論文集、通巻第51号、2016、150-159

〔学会発表〕(計8件)

三浦光哉、他、小1プロブレムを防ぐ保育活動と小学校入学後の状況、日本特別ニーズ教育学会第24回大会（大阪教育大学）自由研究発表、2018

三浦光哉、他、個別検査（WISC-、KABC-）の解釈から教材・教具を作成して指導に活かす -、発達障害児に対する国語・算数・英語の指導 -、日本LD学会第27回大会（大阪国際会議場）自主シンポジウム、2018

三浦光哉、他、特別支援教育システム化による学力・不登校等の波及効果、日本特殊教育学会第55回愛知大会（名古屋国際会議場）自主シンポジウム、2017

三浦光哉、「小1プロブレムを防ぐ保育活動」の効果と持続、日本特殊教育学会第55回大会（名古屋国際会議場）ポスター発表、2017

三浦光哉、他、保育所・幼稚園から小学校へ繋ぐ接続カリキュラムと保育・教育活動、日本LD学会第25回東京大会（パシフィコ横浜）自主シンポジウム、2016

三浦光哉、他、保・幼・小の連携と小1プロブレムへの対応、日本特殊教育学会第54回新潟大会（朱鷺メッセ）自主シンポジウム、2016

三浦光哉、他、5歳児における「小1プロブレムを防ぐ保育活動」の効果、日本特殊教育学会第54回新潟大会（朱鷺メッセ）ポスター発表、2016

三浦光哉、他、小1プロブレムを防ぐ保育活動の実践と効果、日本特別ニーズ教育学会
第22回研究大会(金沢大学)自由研究発表、2016

〔図書〕(計4件)

三浦光哉 他、ジアース教育新社、「共育」「特別支援教育」「大学連携」三つの視点で学力
向上、2018、149

三浦光哉 他、ジアース教育新社、5歳アプローチカリキュラムと小1スタートカリキュ
ラム、2017、186

三浦光哉 他、ジアース教育新社、知的障害・発達障害の教材・教具117、2016、158

三浦光哉 他、明治図書、ユニバーサルデザインの学級づくり・授業づくり、2018、175

年長アプローチカリキュラム（X幼稚園）の例

項目	月	1月	学習 教科	2月	学習 教科	3月	学習 教科
人間関係	ねらい	編成された組（学校ごっこ）の仲間と仲良く接する		誰にでも得手不得手があることに気づき、互いに補い合って行動する		これまで関わってきた人たちに感謝の気持ちを伝える	
	内容	・就学の期待をもち、クラス外の友だちと一緒に活動することを楽しむ。		・個々に得手不得手があることに気づき、互いに補い合って行動する。	㉕	・友だちとのかかわりを深め、思いやりのある行動をする。	㉔
		・学校ごっこの組で、様々な決まりを守りながら活動する。	㉓			・共同の遊具や道具に感謝の気持ちをもって、みんなで大切に扱う。	
		・学校ごっこを通して、物事をやり遂げる気持ちを持つ。	㉔				
言葉	ねらい	自分の気持ちを誰にでも伝える		互いに他者の気持ちを考え、お互いに話を聞いて伝え合う		これまで関わってきた人たちに感謝の気持ちを伝える	
	内容	・自分の思いを伝えると共に、友達の思いや気持ちに気づく。		・言葉の大切さを感じて、「聞く」「伝える」ことの楽しさを知る。		・親に、感謝の気持ちをこめて手紙を書いたり、言葉で伝える。	
		・様々な活動を通して、イメージや言葉のやり取りを楽しみながら学ぶ。		・話をよく聞き、文字などで伝える楽しさを味わう。		・卒園式で、皆と一緒に感謝の気持ちを伝える。	
		・絵本や物語に親しみ、文字や内容に興味をもって活動する。		・皆で楽しく言葉遊びを体験しながらイメージや言葉を豊かにする。			
健康	ねらい	友達と励まし合い、目的意識をもって様々な遊びに挑戦する		ルールを守って、皆で協力して楽しく遊ぶ		就学に向けてより安全を意識して、思い切り活動する。	
	内容	・様々な活動の中を意欲的に行う	㉗	・寒さに負けず、思い切り体を使って遊ぶ。	㉖	・場所や状況に応じて、安全を考えて行動する。	㉔
		・遊びや活動を通して、満足感や達成感を味わう		・遊びのルールを決め、皆で規則を守って楽しく遊ぶ。	㉙	・卒園カレンダーを皆で作って、健康に留意して卒園までの生活を楽しむ。	
		・積極的に、学校ごっこの仲間と触れ合う。		・様々な遊びをして、友だちや先生と十分に触れ合って遊ぶ。	㉘	・自分たちで生活の場を整えながら、見通しをもって行動する。	
表現	ねらい	音楽に親しみ、歌をうたったり、イメージを共有して楽しむ		自分の思いを伝えたり、人の話を聞こうとする（うなづく）		これまでを振り返り、思い出を伝え合う。	
	内容	・友だちと共有感を持ちながら、イメージを膨らませ互いに表現し合う。	㉚	・色、形、部位などに関心を持ち、表現の仕方を楽しむ	㉛	・幼稚園でお世話になった方々を思い感謝の気持ちを伝える。	㉔
		・音楽に親しみ、五感や心をふるわせながら楽しく活動する。	㉚㉛	・じっくりと見たり、聞いたりしながら、様々な表現を楽しむ	㉛㉜		
		・感じたり、考えたことを音や動きで表現したり、かいたりついたりする。	㉜㉝	・素材に親しみ、工夫して遊ぶ。	㉜		
環境	ねらい	日本の伝統文化に触れ、季節の行事を楽しむ		冬の自然現象に興味関心を持ち、遊びを工夫して楽しむ		卒園に向けて、自分たちのできることを考えて行動する。	
	内容	・お正月の年賀状や福笑い、かるた、すごろくなど等の伝統文化に触れ、皆で楽しく親しむ。	㉞㉟	・雪の結晶や氷つくりなどの形に変化に感心をもって遊ぶ		・幼稚園で使用したモノに愛着を持ちきれいに掃除をして感謝の気持ちを伝える。	
				・雪の結晶や氷つくりなどの形に変化に感心をもって遊ぶ			
				・ などの図形の楽しさに気づき意欲的に書いたり作ったりする		・私用・共有物を分け隔てなく、大切に扱う	
心の教育・道徳	ねらい	遊びを通して、友だちや自分の存在が活かされていることを知る		人と仲良く過ごしたり、助け合うことに喜びを感じる		卒園の前に、これまでの成長に感謝の気持ちを持つ。	
	内容	・友だちとの触れ合いを通して、ぬくもりや楽しさ、嬉しさを感じる。	㉠	・人と触れ合いながら、嬉しさ・楽しさ・寂しさ・などを感じる。		・親やこれまで接してきた人・モノに感謝の気持ちを持つ。	
						・自分で出来る手伝いや役に立てることを考えて行動する。	
						・自分の生い立ちを考え、自らの成長を喜ぶ。	

* 数字の番号は、『小1プロブレムを防ぐ保育活動』（三浦，2013）の題材番号である。

小1スタートカリキュラム（Y小学校）の例

適応学習（学習）

A お話玉手箱（読み）	B しっかり書こう（書き）	C 1, 2のさんすう
教師や地域の方の読み聞かせ ・読書アニメーション 簡単な詩を暗唱する	文字を習い、言葉を覚える ・あいうえお ~ わをん	数える、数字で書く いくつといくつ 何番目 時計の見方（時刻）

適応学習（国語科）の事例 30分×29回

A お話玉手箱（読み）		B しっかり書こう（書き）
「おはなしききたいな、よみたいな」 読み聞かせ お絵かき ・気に入った場面や人物を描く	~ ②	詩（リズム詩）の暗唱 ・時間内で暗唱できるもの
読み聞かせ クイズ ・読書アニメーション		鉛筆の持ち方（いろいろな線） ・鉛筆の持ち方・書く姿勢 ひらがなの書き方 ・自分の名前を書いてみよう（1回） ・形のにている字（1回） ・絵に合う言葉を書く（1回） ・言葉集め 6月末までに46文字を学習する
読み聞かせ 主人公に質問 ・読書アニメーション		
読み聞かせ お絵かき ・気に入った場面や人物を描く		

適応学習（算数科）の事例 30分×16回

C 1, 2のさんすう	
ならべよう（5まで） ・数字をおはじきに置き換える ・数字の練習、数を聞いて書く	いくつといくつ（9） ・おはじきを両手に握る ・ペアでゲーム、シートに書く
いくつといくつ（5まで） ・おはじきを両手に握る ・ペアでゲーム、シートに書く	いくつといくつ（10） ・おはじきを両手に握る ・ペアでゲーム、シートに書く
4をさがそう or 3・2 ・身の回りから4で1組を探す ・紹介し合う	6をさがそう or 8・10 ・身の回りから6で1組を探す ・紹介し合う
ならべよう（10まで） ・数字をおはじきに置き換える 数の練習、数を聞いて書く	かぞえよう（タンプリンの音） ・聞いて当てる、数を書く
いくつといくつ（6） ・おはじきを両手に握る ・ペアでゲーム、シートに書く	どっちが大きいかな ・教師対子ども、子ども同士
いくつといくつ（7） ・おはじきを両手に握る ・ペアでゲーム、シートに書く	わたしは前から何番目 ・後ろ・右・左から... 前からいくつと何番目
いくつといくつ（8） ・おはじきを両手に握る ・ペアでゲーム、シートに書く	ねるじかん・おきるじかん ・生活に結びついた時刻

適応学習（生活）15分×24回 「学校生活のルールを知り、安心・安定した生活を送ることができる」

小学校生活適応のための学習	
学校に来たら...あいさつの仕方（15分） 下足棚・雨具掛けの使い方（15分） ロッカー引き出しなどの使い方（15分）、運動着の着替え方・しまひ方（15分）	
学校の行き帰り...通学班・集合場所での待ち方・下校の仕方（15分×2）	
楽しい給食...身支度・手を洗う・静かに・歯磨きの仕方（15分×3）	
学校生活の約束...廊下・階段の歩き方（15分） トイレの使い方（15分） 体育館・遊具での遊び方（15分）	
学校をきれいに...掃除の仕方（15分×2）	
交通事故に気をつけよう...交通安全教室の事前事後指導（15分） 副読本での指導（15分）	
火事や地震が起きたら...避難訓練の事前事後指導（15分×2）	
不審者であったら...不審者対応訓練の事前事後指導（15分×2）	
学校周りの危険箇所、安全な生活について...（15分×2）	
図書室の使い方・本の借り方返し方...（15分×2）	

適応学習（仲間）30分×9回 「友だちとの良好な関係を築き、安心・安定した気持ちで生活を送ることができる」

好ましい人間関係をつくる活動	
朝と帰りのあいさつ・自己紹介	
ゲーム1（動物じゃんけん 例；ネズミ ニワトリ ネコ ワニ 勝つと1つ上がる 動物の身振り）	
ゲーム2（質問じゃんけん ペアで改戦 勝った人が質問して相手が答える）	
ゲーム3（フルーツバスケット 好きなもの誕生月）	
上級生と一緒に校歌を歌おう	
ゲーム4（王様じゃんけん 負けたら後ろに並び リーダー（王様）と改戦して負けたら座る）	
ゲーム5（空飛ぶしゅうたん（人口過密） 1枚の新聞紙に何人立てるかを競う）	
ゲーム6（名刺交換ゲーム）	
ゲーム7（グループじゃんけん 3~5人グループで改戦 脚でやる方法）	